



センター通信

発行: 逗子文化プラザ市民交流センター(2020年2月1日 vol.114)

NEWS 最新のお知らせ

ロッカー・レターケース利用団体募集!

募集期間 2020年2月1日(土) ~ 2020年2月29日(土)

使用期間 2020年4月1日(水) ~ 2021年3月31日(水)

ロッカーの概要

- 用途: 活動に必要な事務用品等の保管に使用できます。
- サイズ: 大・小ともA3判用紙を折らずに入れることができます。
[大きいサイズ] (内寸法: 幅406×奥行408×高さ531mm) ●個数 48個 ●使用料金 4,200円/年
[小さいサイズ] (内寸法: 幅406×奥行408×高さ308mm) ●個数 30個 ●使用料金 2,400円/年
- 保管禁止物品: 危険物、金品、不衛生な物品、動植物



レターケースの概要

- 用途: 団体内での連絡、団体間の情報交換、活動のPR等、メールボックスとして使用できます。
- サイズ: A4判用紙を折らずに入れることができます (内寸法: 幅236×奥行318×高さ69mm)
- 個数: 108個 ●使用料金: 無料
- 保管禁止物品: 危険物、金品、不衛生な物品、動植物

申込方法

募集期間内に『逗子文化プラザ市民交流センター 設備使用申請書』を市民交流センター窓口にご提出ください。
※応募団体が多数の場合は抽選となります。
※情報登録をしていない団体は、併せて『生涯学習・市民活動団体情報登録シート』をご提出いただきます。



ずしまちクエスト商店街たんけん隊! 参加者募集!



ふだん、何気なく歩いている商店街。どんなお店があって、どんな人が働いているんだろう?
いろいろなミッションをみんなでクリアして、オリジナルの商店街しんぶんを作ろう。
お店でおみやげをもらえるかも!?

日時 2020年2月29日(土) 13:00 ~ 17:00
場所 市民交流センター / 逗子駅周辺商店街
料金 1000円 (材料費・保険代)
持ち物 筆記用具・飲み物
対象 小学2年~5年生
定員 先着15名



運営: 辻 義和さん
探究型・プロジェクト
学習型アフタースクール
"まなび舎ポート" 代表
<http://bootto.strikingly.com>

お申込み: 2月1日(土) 9:00 から逗子文化プラザ市民交流センター窓口・電話・FAX・メールで受付
お申込・お問合せ: TEL: 046-872-3001 FAX: 046-872-3003 E-MAIL: ac-center@zushi-psc.org



tomoiku

逗子トモイクフェスティバル

2020.3 / 21(土)・22(日)

逗子文化プラザホール・市民交流センター・逗子小学校
フェスティバルパーク

逗子再発見

共に学び、共に育つ「共育ともいくのまち」の実現を目指して、大人も子どもも、共に知り・体験し・学び・響き合う場を創造します。多彩な展示やワークショップ、ライブ、逗子で人気の飲食店など、2日間めいっぱい楽しんでいただける企画が満載です。今回はホールで開催する内容を紹介します。 <http://www.tomoiku.org/>

さざなみホール

1F

映画『ひびきあうせかい』 & 音楽体験『サークルボイス』

日時 21日(土) 1回目 10:00~13:00 開場 10:00 上映 10:15
2回目 14:30~17:30 開場 14:30 上映 14:45

料金 大人(高校生以上)1,000円 + ドネーション

子ども(中学生以下)500円 ※小学生以下は保護者同伴必須

定員 各回 130名程度



幻想的な映像と生演奏で贈る 読み聞かせ「銀河鉄道の夜」

日時 22日(日) 開演 10:30 終了 11:30

料金 500円

定員 100名

対象 小学生以上



Love&Peace 原田真二 PRE WORKSHOP

日時 22日(日) 受付 13:45 開始 14:00 終了 16:00

料金 大学生以上 2,000円 / 高校生 1,000円 / 中学生 500円

定員 50名

予約 要予約 メールまたは電話にて
love249peace@gmail.com 090-4365-6636(青柳)



Music Fair 2020 (ミュージック・フェア・2020)

日時 21日(土) 1回目 11:00~13:00 2回目 15:00~17:00
料金 無料
定員 500人



映画「みとりし」上映+ミニピアノコンサート&トーク

日時 22日(日) 開場 13:00 開演 13:30 終了 17:00
料金 前売り 高校生以下 :1,000円 大人 :2,000円
 当日 高校生以下 :1,500円 大人 :2,500円
定員 500人



ホールギャラリー 1F

●空とぶさかな(凧)●さかなバッチワークショップ

日時 21日(土)・22日(日) 11:00~16:00 (時間 20分)
料金 各 500円



最後のセンター試験

NPOCLIP vol.51



2020年1月18日土曜日にセンター試験が始まりました。例年、センター試験当日は天気がぐずついているように思いますが、やはりみぞれが降っていました。

翌19日には問題が公開されたので、ボランティアやNPO関連の問題を探しました。過去に、「公民」「現代社会」での出題がありましたので、そこをチェックしました。第1問の本文に、「大会ボランティアをめぐっても議論があったし、～」という文章がありました。また、第6問では、政治への参加のあり方についての本文の中に、「近年、地方自治体では、ガバナンス(官民協働)という、市民等が、実際の政策立案やまちづくりに主体的に参加する新しい政治参加の形態が見られる。1998年には特定非営利活動促進法(NPO法)が成立し、その後さまざまな民間の団体による政治・行政への参加も増加してきている。」とあり、続けて「投票という伝統的な政治参加においても、また地方自治体の最近の試みにおいても、人々の政治参加の様々な新しいあり方や機会の拡充が、模索されている。」と、締めてありました。それに続く5つ問の中に、「官民の関係」や「政治参加のあり方」「行政機関と市民との関係」についての記述文があり、本文と合致するものを選ぶという問いがありました。興味のある方は、新聞や予備校のHPなどで確認してください。

ここ数年、センター試験にNPOやボランティア関連の出題をチェックしてきました。2012年には「NPO法人について」というタイトルで、かなり直接的な問題が出題されたこともありましたが、最近では、理念や社会との関連など、広く社会での市民の役割や使命を問うようになってきました。日本では長く、経済をけん引する「民セクター」と、政府や行政の「官セクター」の二極と個人や世帯・家庭といった「私セクション」の3つで社会がつくられていたと考えられてきていました。少しずつではありますが、「官民協働」の「民」は「営利事業者」ではなく「市民」や「非営利組織体」のことという解釈が一般的になったように、社会の役割が変化しているように見えてきました。



この試験を経験した世代の国民が次々と社会の担い手となり、新しい社会づくりに挑戦し始めています。ワクワクが止まりませんね。(Te) ※「ガバナンス」の新しい解釈に出会いました。これはこれで衝撃でした。

